

【資料1】

三田市教育大綱

平成29年3月

1 趣旨

三田市教育大綱（以下「大綱」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の3第1項の規定に基づき、国及び兵庫県の教育振興基本計画における基本的な方針を参酌し、本市の実情に応じた「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」として、市長及び教育委員会で構成する総合教育会議での協議・調整を経て市長が策定するものです。

2 大綱の位置づけ

この大綱は、第4次三田市総合計画後期基本計画における教育、学術及び文化の振興に関する施策の内容を踏まえ、市長の有する権限に係る事項を中心として、特に重点的に取り組むべき施策の基本方針について定めたものです。

また、第2期三田市教育振興基本計画は、第4次三田市総合計画後期基本計画のほか、大綱の内容と整合を図り策定しています。

3 推進期間

この大綱の推進期間は、第4次三田市総合計画後期基本計画及び第2期三田市教育振興基本計画の計画期間に合わせて、平成29年度から平成33年度までとします。

4 基本理念

『夢を育て、人を育む学びのまち 三田』

未来の三田を担う子どもが夢を持ち、その実現に向けて取り組むことができる環境を整えます。また、学びを通じて成熟した市民を育てることで、地域コミュニティにおいて希薄化した人と人とのつながりを取り戻します。

そして、これらの取り組みによって、「学びのまち 三田」という新たな三田ブランドの創出を目指します。

5 基本方針

方針1 『切れ目のない教育、保育の実施』

(1) 質の高い就学前教育・保育の提供（幼保一元化の推進）

待機児童の解消や多様な保育ニーズに対応するため、就学前の教育・保育を総合的に提供できる体制づくりとして、私立保育所・幼稚園の認定こども園への移行を推進するとともに、公立保育所・幼稚園の認定こども園への移行を検討します。

《平成29年度の主な事業》

●質の高い就学前教育・保育の提供 37万円

認定こども園（幼保一体化施設）への移行も視野に入れながら、保育サービスの拡充に向けて保護者等のニーズを踏まえ、三田市立学校園のあり方審議会を設置し、市立幼稚園の望ましいあり方について検討します。

●**幼児教育に係る教職員研修の充実** 75万円

義務教育修了の15歳の姿を見通し、「さんだっ子かがやきカリキュラム（三田市就学前保育・教育共通カリキュラム）」を軸に、保育士・幼稚園教諭・保育教諭の資質向上を目指して研修を行います。

(2) **育ちと学びをつなぐ教育の推進**

子どもの連続した育ちと学びを支援することができるように、各中学校区において、保幼・小・中学校園所の連携を推進します。

また、小中学校においては、目指す子ども像を共有し、学習の系統性を明確にしながら、9年間を見通した小中一貫教育の検討を行います。

《平成29年度の主な事業》

●**学校園所の連携の推進**

子どもの連続した育ちと学びを支援することができるように、各中学校において、保幼・小・中学校園所の連携を推進します。

各中学校区で保育・授業参観、連絡会等の開催、出前授業や合同授業等を通して、情報交換や交流を行い、子どもの連続した育ちと学びを支援できるよう連携を図ります。

(3) **特別支援教育の充実**

インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、障害のある子どもが、将来の自立に向けて、個に応じた適切な指導や支援を受けられるよう、教員の専門性の向上や教育相談体制の充実を図るとともに、特別支援教育支援員の配置、校種間や関係機関との連携を推進します。

《平成29年度の主な事業》

●**特別支援教育における医療的ケアなどの充実** 1,015万円

ひまわり特別支援学校で、医療的な配慮が必要な児童・生徒が、安全で健康に学校生活を送ることができるように、医療的ケア体制の整備・充実を図ります。

①**教員の医療的ケア連携体制の充実**

教員が医療的ケアに係る研修を受講し、基礎的知識を習得することによって、より安全な医療的ケアの実施に向けた連携を行います。

②**指導医巡回の充実**

医師の巡回数を増やすことにより、一層の医療的ケア体制の充実を図ります。

③**緊急搬送先病院医師巡回訪問**

緊急搬送先の一つである三田市民病院の医師が巡回・訪問することに

より、緊急搬送時の対応を円滑に行います。

④三田市民病院の看護師派遣

三田市民病院から看護師の派遣を受け、三田市民病院との関係を強化し、安定した医療的ケアを実施します。

(4) 就園・就学等の経済的支援

子どもの将来がその生まれ育った家庭の状況によって左右されることがないように、幼稚園や認定こども園の保育料の負担軽減や就学の援助など、子どもの発達段階に応じて教育の機会均等を図り、全ての子どもが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。

《平成29年度の主な事業》

●要保護・準要保護児童生徒就学援助事業 5, 174万円

経済的理由により就学困難な児童生徒に学用品費等を援助し、義務教育の円滑な実施を図ります。

●私立幼稚園就園奨励事業 4, 511万円

三田市民で私立幼稚園に通園している保護者の経済的負担の軽減を図り、幼稚園教育の普及、充実を図ります。

方針2 『グローバル人材の育成』

(1) ふるさと意識の醸成

子どもが将来、主体的に生きるために、自らのよりどころとなる「ふるさと三田」の伝統や文化を尊重し、豊かな文化の創造に寄与する態度を育てるため、三田の自然、歴史、文化や偉人を学習材として学習するとともに、市内の学習施設等を活用した見学や調査、農業体験、日本の文化に触れる体験活動を推進します。

また、学校給食に地域食材を積極的に取り入れ、郷の恵みや生産者への感謝の心を育てる食育の推進により、ふるさと意識の醸成に努めます。

《平成29年度の主な事業》

●ふるさと学習の推進 31万円

三田の偉人をはじめ、地域の自然や歴史、文化、産業等の地域教材を活用してふるさと学習を充実させることにより、ふるさと三田の良さに気づき、ふるさとを大切に思う心を育みます。

(2) グローバル化に対応した教育の推進

国際化が進展する中で、子どもが将来、国際社会で活躍できるよう、就学前から11年間を見通した英語教育及び国際理解教育を推進します。

また、高度情報化への対応として、子どものICT機器活用能力を育成するとともに、情報ネットワークの特性を踏まえた適切なコミュニケーションや情報発信の

あり方等について正しく理解させる情報モラルを育成する情報教育を推進します。

《平成29年度の主な事業》

●英語教育の推進 540万円

就学前から11年間を見通した英語教育を推進します。子ども英語教室の開催や小中学校へのALT・外国語サポーターの派遣を行うとともに、三田市英語教育推進委員会において、今後の英語のあり方について検討します。

●IT教育の推進 5,087万円

子どもの興味・関心を高め、思考や理解を深めるため、電子黒板、タブレットパソコン、ウェブカメラ等のICT機器の活用を図ります。また、情報モラルを育てる授業を行うとともに、家庭への啓発を推進します。

(3) キャリア教育の推進

子ども一人ひとりの発達段階に応じ、将来、社会的・職業的に自立し社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育てます。

また、人や社会と自分との関わりを認識させる機会として、地域や関係機関等と連携しながら、自然体験や職業体験等の多様な活動に取り組みます。

《平成29年度の主な事業》

●小学校体験活動事業、「トライやる・ウィーク」推進事業 2,997万円

「兵庫型体験教育」をはじめとした、本物に出会う体験や絆に気づく体験等により、豊かな感性や自ら考え行動する力を育みます。

方針3 『時代に応じた教育環境の整備・活用』

(1) 小中学校の適正規模・適正配置の検討

少子化が進展する中で、たくましく生きる子どもの育成に向けて、一定規模の集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことができるよう、小中学校の適正規模・適正配置について検討します。

《平成29年度の主な事業》

●学校園のあり方の検討 37万円（基本方針1(1)再掲）

児童・生徒数の減少等により生じる教育的な課題に対応するための方策について検討し、子どもたちにとってより良い教育環境づくりに向け、三田市立学校園のあり方審議会を設置し、小中学校の適正規模・適正配置を検討します。

(2) 学校施設の利活用

地域の大人が子どもに関心を持ち、世代間の交流を深め、学校と地域の連携を図るとともに、良好な地域コミュニティづくりに向けた取り組みを推進するため、学

校の余裕教室を効果的に活用します。

《平成29年度の主な事業》

●学校施設の利活用

県民交流広場やスポーツクラブ21、放課後児童クラブなど、学校の余裕教室を効果的に活用します。

(3) 安全・安心で快適な教育環境の整備

子どもがより安全・安心で快適に学習に取り組めるよう、通学路等への防犯カメラの設置により子どもや保護者・地域が安心できる安全な教育環境を整備するほか、校舎等の大規模改修や空調設備の設置などを行い、快適な空間で学習できる環境を整備するとともに、エレベーター・階段手摺等の設置を行い、バリアフリーにも配慮した施設整備を行います。

また、災害時における避難所機能を考慮し、洋式トイレの計画的な配置に努めます。

《平成29年度の主な事業》

●防犯カメラの設置 223万円

市が主体となって子どもの安全の確保に寄与するため、小学校区につき10台（計200台）の防犯カメラを各地域や警察の意見をもとに、通学路等に設置します。

●小学校施設改修事業（校舎増築） 4,647万円

三田小学校及びゆりのき台小学校で、児童数の増加により、教室の不足が見込まれるため、校舎を増築することとし、実施設計を行います。

●小学校施設改修事業（エレベーター設置） 5,020万円

障がいのある児童（肢体不自由等）の現状及び今後の就学状況を勘案し、必要性、緊急性の高い学校にエレベーターを設置します（本庄小学校）。

●中学校施設改修事業（空調設置） 5億4,470万円

夏季の暑さ対策として、中学校の普通教室に空調を設置することにより、快適な学習環境の整備を図ります。

方針4 『地域ぐるみによる子どもの育ちと学びの支援』

(1) 家庭・地域の教育力の向上と子どもの居場所づくり

あいさつの奨励など子どもの基本的な生活習慣や学習習慣の形成に向け、家庭の教育力を一層高めるための取り組みを進めます。

また、学校・家庭・地域の連携と協働によるこうみん未来塾、放課後子ども教室、各種スポーツクラブ等の活動を通じた地域の教育力の向上を図ります。

さらに、経済的困窮家庭を形成する「貧困の連鎖」を断ち切るよう、学校・家庭・地域・関係機関と連携した取り組みを行っていきます。

《平成29年度の主な事業》

●こうみん未来塾の実施 158万円

子どもたちの科学技術への親しみやグローバルに活躍する気概、チャレンジ精神を高めるため実施します。

●子育て世帯の経済状況と生活実態調査 300万円

子育て世帯の経済状況や生活状況を把握・分析するために、アンケート調査を実施し、今後の施策展開の検討を行います。

(2) 「地域とともにある学校づくり」の推進

学校・家庭・地域が一体となってより良い教育の実現に取り組むため、コミュニティスクールや学校支援ボランティアなどの取り組みを進め、保護者や地域住民が主体的に学校運営への参画と効果的な支援を行う仕組みづくりを推進します。

《平成29年度の主な事業》

●コミュニティスクール推進事業 105万円

地域ぐるみで子どもの育ちを支えるため、保護者や地域の人々が、主体的に学校運営への参画と効果的な支援を行うための仕組みとして、コミュニティスクールの取り組みを推進します。

(3) 青少年の健全育成

青少年が良好な環境の中で、社会的に自立し、他者に思いやりを持つ個人として、心身ともに健やかに成長するように支援するとともに、青少年の健やかな成長を社会全体で支えるための環境を整備します。

《平成29年度の主な事業》

●少年補導等非行防止事業費 419万円

青少年の非行の未然防止と早期発見のため、学校・家庭・地域・関係機関と連携し、各地域の状況に応じた街頭補導活動を展開し、青少年の問題行動等の発生に対して適切な指導や注意を行います。

方針5 『生涯を通じて学び、その成果を活かすことができる環境の充実』

(1) 地域「人財」の育成と活躍の支援

多世代活躍社会の推進に伴い、地域の特性や課題を踏まえた生涯学習の場としての観点から生涯学習カレッジのカリキュラムを再編するなど、地域社会に資する「人財」の育成を図るとともに、修了者が学習と交流の成果をより深めながら、「学び」を地域社会に還元する機会の創出に努めるなど、地域での主体的な活動を支援します。

《平成29年度の主な事業》

●地域の創生に向けた生涯学習カレッジのあり方検討 68万円

地域社会に資する「人財」育成にむけて、生涯学習カレッジのカリキュラムのあり方や、修了後の活躍の場との地域連携について、三田市生涯学習審議会の意見を参考に検討を行います。

●**さんだ生涯学習カレッジの運営** 819万円

今後の方向性を視野に修了者を中心に構成する生涯学習サポートクラブの支援を得ながら、学生による自主的なカレッジ運営を進めます。

(2) **高等教育機関等を含む多様な学習資源の活用**

本市は、個性あふれる高等学校・大学や専門学術機関などの教育環境に恵まれており、多彩な学びの場は本市の魅力の一つです。これらの高等教育機関と連携し、教育を重要な都市ブランドとして位置付け、「学びのまち 三田」としてのブランドを創出します。

また、有馬富士自然学習センター、図書館、三田ふるさと学習館を拠点としながら、地域の多様な学習資源のより一層の活用と普及を進めるため、大学や研究者との連携を深めつつ、専門性に裏付けられた質の高い学びの提供に努めます。

《平成29年度の主な事業》

●**有馬富士自然学習センタープログラムの実施** 2,238万円

県立人と自然の博物館へのプログラム運営委託により、博物館との関係強化を図るとともに、センターにおける学習機会の専門性を高め、質の高い「学び」を提供します。

●**市立図書館の運営** 2億6,160万円

市立図書館の管理運営に民間活力を導入しながら、効果的・効率的な運営を進め、読書通帳を活用した読書の推進や「調べる学習コンクール」の参加者の拡大を図り、「学びのまち 三田」の拠点としての役割を図ります。

(3) **文化・スポーツの振興**

文化・芸術面については、総合文化センターやガラス工芸館などを拠点として、市民等との連携により、多様な市民が気軽に伝統文化や良質な文化に触れるとともに、創造性を発揮できる機会の創出に努めます。

スポーツの振興については、スポーツクラブ21をはじめとして、各種目団体及びスポーツ推進委員と学校との連携を推進します。また、地域のスポーツ活動をより活性化するために、指導人材の育成と地域間交流を図りながら、中学校区単位での展開も視野に入れ、部活動との連携や地域のスポーツクラブを活用した指導を行うなど、地域ぐるみで子どものスポーツ指導と生涯スポーツの推進に取り組みます。

《平成29年度の主な事業》

●**ノルディック・ウォーキングの推進** 277万円

誰もが気軽に取り組めるノルディック・ウォーキングを通じて、市民の健康・体力づくりを推奨します。また、「フェスタ」やスポーツ教室を通じて、参加者相互の交流の促進や市の魅力を広く市内外へ発信します。

● (仮称) 第2次三田市スポーツ推進基本計画の策定 211万円

少子・高齢社会を見据えて、市民の運動習慣の定着や子どもの体力増進、スポーツ指導者の育成と地域スポーツ団体のあり方の検討を進め、また、スポーツが持つ多面的な可能性をスポーツツーリズムなどのまちのブランド創造や、スポーツを通じたノーマライゼーションの推進等を視野に入れた平成30年度から5年間を計画期間とする次期計画を立案します。